

ノロウイルスによる感染について

感染経路	症状
<p><食品からの感染></p> <ul style="list-style-type: none">●感染した人が調理などをして汚染された食品●ウイルスの蓄積した、加熱不十分な二枚貝など <p><人からの感染></p> <ul style="list-style-type: none">●患者のふん便やおう吐物からの二次感染●家庭や施設内などでの飛沫などによる感染	<p><潜伏時間></p> <p>感染から発症まで24~48時間</p> <p><主な症状></p> <ul style="list-style-type: none">●吐き気、おう吐、下痢、腹痛、微熱が1~2日続く。感染しても症状のない場合や、軽い風邪のような症状のこともある。●乳幼児や高齢者は、おう吐物を吸い込むことによる肺炎や窒息にも要注意。

ノロウイルスの感染を広げないために

食器・環境・ リネン類などの

消毒

- 感染者が使ったり、おう吐物が付いたものは、他のものと分けて洗淨・消毒します。
- 食器等は、食後すぐ、厨房に戻す前に塩素液に十分浸し、消毒します。
- カーテン、衣類、ドアノブなども塩素液などで消毒します。
 - 次亜塩素酸ナトリウムは金属腐食性があります。金属部（ドアノブなど）消毒後は十分に薬剤を拭き取りましょう。
- 洗濯するときには、洗剤を入れた水の中で静かにもみ洗いし、十分すすぎます。
 - 85℃で1分間以上の熱水洗濯や、塩素液による消毒が有効です。
 - 高温の乾燥機などを使用すると、殺菌効果は高まります。

おう吐物などの

処理

- 患者のおう吐物やおむつなどは、次のような方法で、すみやかに処理し、二次感染を防止しましょう。ノロウイルスは、乾燥すると空中に漂い、口に入って感染することがあります。
 - 使い捨てのマスクやガウン、手袋などを着用します。
 - ペーパータオル等で静かに拭き取り、塩素消毒後、水ぶきをします。
 - 拭き取ったおう吐物や手袋などは、ビニール袋に密閉して廃棄します。その際、できればビニール袋の中で1000ppmの塩素液に浸します。
 - しぶきなどを吸い込まないようにします。
 - 終わったら、ていねいに手を洗います。

ペットボトルを使った消毒液の作り方

※逆性石けん、アルコールの消毒効果はあまりありなく、塩素系漂白剤の次亜塩素酸ナトリウムは効果があります。

家庭用塩素系漂白剤（原液の次亜塩素酸ナトリウム濃度約5%）を使った場合 （ハイター、ブリーチ等）

- ★ 便や嘔吐物が付着した床、衣類、トイレなどを消毒する場合
濃度が **0.1%**(1,000ppm)の消毒液
500mlのペットボトルに漂白剤をペットボトルのキャップ
2杯分(10ml)入れ、水を加えて500mlにする
- ★ おもちゃ、調理器具、直接手で触れる部分の消毒
濃度が **0.02%**(200ppm)の消毒液
2Lのペットボトルに、漂白剤をペットボトルのキャップ
2杯分(10ml)入れ、水を加えて2Lにする。

